

令和5年7月31日

茨城県ドッジボール協会審判員 各位

中級レベルアップ審判講習会の開催について（ご案内）

茨城県ドッジボール協会
競技委員会

標記について、下記のとおり実施します。

希望者は、E-mailにて申し込みをお願いします。

記

日 時：（１）（学科及びシャドーイング） 令和5年9月10日（日）
9時00分（受付8:30）～15時30分（予定）
（２）（実 技） 令和5年9月17日（日）
牛久フレンドリーカップにて

※いずれかでも可能です。

場 所：（１）阿見町中央公民館及び町民体育館
〒300-0333 茨城県稲敷郡阿見町若栗1886-1
（２）牛久運動公園体育館
〒300-1203 茨城県牛久市下根町1400

対 象：● B級認定会を受験したい人、受験を検討中の人
● B級認定会を体験してみたい人
● 受験は分からないが、審判技術を高めたい人
（資格取得後、概ね2～3年経過した者）※ジュニア審判員可
10名程度

服 装：（１）動きやすい服装 （２）審判服

持ち物：筆記用具・笛・審判手帳・RYカード・タオル・ルールブック 等

申込み：**8月13日（日）まで**に茨城県ドッジボール協会までメールにてお申込み下さい。

- ①メールの表題を「**中級レベルアップ講習会参加（名前）**」とする。
- ②メール本文に（１）氏名（２）所属チーム（３）資格取得年月日 を記載
- ③下記アドレスへ送信

E-Mail info@idba.jp（期日を必ず厳守願います）

※メールの表題は必ず「**中級レベルアップ講習会参加（名前）**」としてください。

※問い合わせについては、競技委員長 高安あて直接連絡をください。

080-105-6941 boku.dora-emon.desu@docomo.ne.jp

以上

【講習会の概略・スケジュール】

○B級認定会とはどういうものかを体験しながら、知識・技術の向上を目指します。

9/10（日）

8:30 集合・受付

9:00～ 挨拶、講習会の説明

9:10～ 学科（認定会と同様の学科試験を行います。）

10:00～ シャドーイング指導（認定会でのシャドーイングについて説明及び指導を行います。）

12:00 昼食（昼食は各自で用意してください）

13:00～ シャドーイング模試（認定会と同様の模擬試験を行います。）

15:00～ ミーティング（模擬試験にて、できていない事項の確認と指導を行います。）

15:30 撤収

9/17（日）牛久フレンドリーカップ

※主に主審・副審について、採点及び実地指導を行います。

★学科試験と同等レベルの問題を添付しておきます。予習として利用してください。なお、同じ問題が出題されるとは限りません。（解答は各自で作成してみてください。分からないときはB級に聞いてください。）

B 級レベルアップ筆記模擬試験 その 1(予習用)

問題1) 次の()を全て記入しなさい。

(2 点×10 問=20 点)

第 602 条 主審

- ① 主審は(ア)を負い全てについての(イ)を有し、(ウ)することができる。
- ⑦ 試合終了後、記録用紙を確認し(エ)をする。

第 603 条 副審

- ② 副審は(オ)の判定を補佐する。
- ⑤ (カ)により(キ)することができる。

第 604 条 線審

- ① 線審は主に(ク)の判定をし、(ケ)を補佐する。
- ④ (コ)する。

ア	イ	ウ	エ	オ
カ	キ	ク	ケ	コ

問題2) 次の文章について正しければ○、間違っていれば×をつけなさい。

(2 点×5 問=10 点)

- (1)第106条 主審がプレイ続行不可能と判断した場合はその旨をオフィシャルに告げ、プレイヤーの交代を指示することができる。
- (2)第201条 ラインはコートの内側に引く、ただしセンターラインは内野を二等分にした線とする。
- (3)第503条 ①記録用紙に試合経過及び試合結果を記入し、コートマスター及び監督の最終確認(署名「サイン」)を得る。
- (4)第 808 条 ヘルドボールの後の試合再開は、内野プレイヤーと外野プレイヤーが同時に掴んだ場合は、その外野プレイヤーがより試合を再開する。
- (5)第710条 3)セット終了時に内野プレイヤーが同数の場合は、ヴィクトリーポイントゲームにより、勝敗を決定する。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
-----	-----	-----	-----	-----

問題3) 次の文はルールブックの一部です。()に適する言葉を、ルールブックにある通り正確に解答欄に書きなさい。

(2 点×13 問=26 点)

第 201 条 コート及びゾーン

3) プレイヤーズゾーンは(①)から 2 メートルとする。

第 401 条 罰則

罰則は警告、退場、失格に分類する。なお罰則は(②)される。

第 502 条 コートマスター

3) 全審判員<6 審>の協議により(③)がつかない場合、主審より要請があった場合に限り助言ができる。

第 503 条 記録員

② 主審が宣言したプレイヤー及び監督等の(④)を記録するとともに、要求があった場合の指示を行う。

第 706 条 不完全となったチーム

④ チームに成人がいなくなった時点で不完全となったチームとし、当該チームの負けとする。そのチームはその大会における以降の(⑤)には出場できない。

第 704 条 試合終了

1) 試合終了は、計時員の(⑥)の合図(ブザーまたは計時員の笛)になった瞬間、または一方のチームの(⑦)が全員アウト(0 人)が確定した瞬間とする。

第 804 条 パス

① 味方の内野プレイヤーが投球したボールを外野プレイヤーが(⑧)、または(⑨)した状態で成立し、パスカウントの対象とする。

第 807 条 セーフ

② (⑩)が成立したとき。

第 809 条 ボールデッド

② (⑪)以外で(⑫)または、内外野へ移動中のプレイヤーにボールが接したとき。

第 814 条 ジャンプボール

1) ④ ボールタップは、ボールが(⑬)し始めた時点から床に接する間に行い、ジャンパーは掌で軽くボールを叩く。

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫
⑬			

問題 4 次のファール名をルールブックどおりに書きなさい。(2 点 × 18 問 = 36 点)

① 同一チームの内野と外野のパスが、連続5回を数えた。

② 同一チームの内野プレイヤー同士、または外野プレイヤー同士が、パス及びボールの受

け渡しを行った。

- ③インプレイ中ボールを保持したプレイヤーがラインを踏んだ。
- ④インプレイ中、相手チームのエリアに転がっているボールに触れた。
- ⑤ノーバウンドの投球で、直接相手のプレイヤーの顔面または頭部に当てた。
- ⑥試合中、相手プレイヤーの体に接触した。(ジャンプボール時の偶然以外)
- ⑦アウトになったプレイヤーが、外野への移動中に自エリア内で自ら再びボールに触れた。
- ⑧プレイヤーが内外野への移動中に、故意に相手の投球したボールに触れた。
- ⑨ボールをキャッチしてから5秒以上保持した。
- ⑩ジャンプボールの時、ボールが頂点から落下し始める前にタップした。
- ⑪ジャンプボールの時、故意に2度以上タップした。
- ⑫ジャンパーがタップしたボールをキャッチした内野プレイヤーが、第1投目で相手のチームのジャンパーを攻撃した
- ⑬ジャンパーが自分がタップしたボールを捕球した。
(このジャンパーは唯一の内野プレイヤーではない)
- ⑭ボールデッド後、試合を再開する際に主審の笛の前に投球した。
- ⑮インプレイ中、プレイヤーが自エリア以外でプレイした。
- ⑯手・腕・足・頭等でボールを弾いてアタック、またはパスをした。
- ⑰手・腕・足・頭等でボールを弾いた後、そのボールをキャッチした。
- ⑱試合中、プレイヤーや監督等が危険行為や重大なマナー違反を行った。

①		②		③	
④		⑤		⑥	
⑦		⑧		⑨	
⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮	
⑯		⑰		⑱	

問題 5) ルールブックに書かれているテクニカルファール7項目のうち4項目を書きなさい。
(4点×1問=4点)

--

問題 6) 内野復帰権の放棄にていて説明しなさい。

(4点×1問=4点)

B 級レベルアップ筆記模擬試験 その2(予習用)

問題1) 次の()に適する言葉をルールブック通りに書きなさい。(2点×10問=20点)

第602条 主審

- ② 主審は試合の(ア)を判定し、イエローカード、レッドカードを携帯し(イ)、(ウ)(エ)を宣言することができる。
- ③ パスカウントは(オ)で必ず表示する。

第603条 副審

- ① 副審は、(カ)を補佐する。
- ③ (キ)及び(ク)の判定を補佐する。
- ④ (ケ)が必要な場合は主審に要求することができる。

第604条 線審

- ⑤ 第405条により(コ)することができる。

ア	イ	ウ	エ	オ
カ	キ	ク	ケ	コ

問題2) 次の分が正しければ○、間違っていれば×を付けなさい。(2点×5問=10点)

(1)第106条

主審がプレイ続行不可能と判断した場合はその旨をオフィシャルに告げ、プレイヤーの交代を指示することができる。

(2)第203条 センターサークルは小学生・中学生女子は半径1.5メートルの円とする。

(3)第403条 「退場」を宣告された者は、直ちにペナルティーベンチに入り、その試合に復帰できない。

(4)第704条 2)試合終了と同時にプレイヤーの手から離れた投球ボールは有効とする。

(5)第812条 アウトを取った外野プレイヤーが自チームの内野エリアに復帰するとき、故意にボールに触れた場合は、内野復帰権を放棄したとみなされる。(偶然ボールに触れた場合を除く。)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
-----	-----	-----	-----	-----

問題3) 次の()に適する言葉をルールブックどおりに書きなさい。2点×11問=22点

第502条 コートマスター

- 3)(①)によりプレイに関する処理の判断が付かない場合、主審より要請があった場合に限り助言ができる。

第 708 条 コートチェンジ

2)3セットマッチ、5セットマッチの場合は、2セット以降各セットごとにコートを変えて行う。ただし、原則的に(②)とする。

第 709 条 オフィシャルタイムアウト

- 1)①他の審判員より(③)があったとき。
- ②プレイヤーズゾーンに(④)が入ってきたとき。
- ③ボールがプレイヤーズゾーンから出て、(⑤)に支障があるとき。
- ④(⑥)のとき。

第 801 条 キャッチ

①空中にあるインプレイ状態のボールを、プレイヤーが直接(⑦)で受け止め、かつそれを確実に(⑧)する行為であり、同時にプレイヤー自身が意識してボールを扱うこと(⑨)が可能な状況に至ったと審判員が判断をした(見極めた)とき。

第 809 条 ボールデッド

- ⑤第 709 条および(⑩)よりタイムの要求があったとき。
- ⑥インプレイゾーンで静止しているルーズボールに対し、そのエリアに該当するチームプレイヤーが(⑪)しなかったとき(この場合の判定は、第 910 条と同一の判定とする。)

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑪				

問題 4) 次のファール名をルールブックどおりに書きなさい。(2 点×18 問=36 点)

- ①同一チームの内野と外野のパスが、連続5回を数えた。
- ②同一チームの内野プレイヤー同士、または外野プレイヤー同士が、パス及びボールの受け渡しを行った。
- ③インプレイ中ボールを保持したプレイヤーがラインを踏んだ。
- ④インプレイ中、相手チームのエリアに転がっているボールに触れた。
- ⑤ノーバウンドの投球で、直接相手のプレイヤーの顔面または頭部に当てた。
- ⑥試合中、相手プレイヤーの体に接触した。(ジャンプボール時の偶然以外)
- ⑦アウトになったプレイヤーが、外野への移動中に自エリア内で自ら再びボールに触れた。
- ⑧プレイヤーが内外野への移動中に、故意に相手の投球したボールに触れた。
- ⑨ボールをキャッチしてから5秒以上保持した。
- ⑩ジャンプボールの時、ボールが頂点から落下し始める前にタップした。
- ⑪ジャンプボールの時、故意に2度以上タップした。
- ⑫ジャンパーがタップしたボールをキャッチした内野プレイヤーが、第1投目で相手の

チームのジャンパーを攻撃した

⑬ジャンパーが自分がタップしたボールを捕球した。

(このジャンパーは唯一の内野プレイヤーではない)

⑭ボールデッド後、試合を再開する際に主審の笛の前に投球した。

⑮インプレイ中、プレイヤーが自エリア以外でプレイした。

⑯手・腕・足・頭等でボールを弾いてアタック、またはパスをした。

⑰手・腕・足・頭等でボールを弾いた後、そのボールをキャッチした。

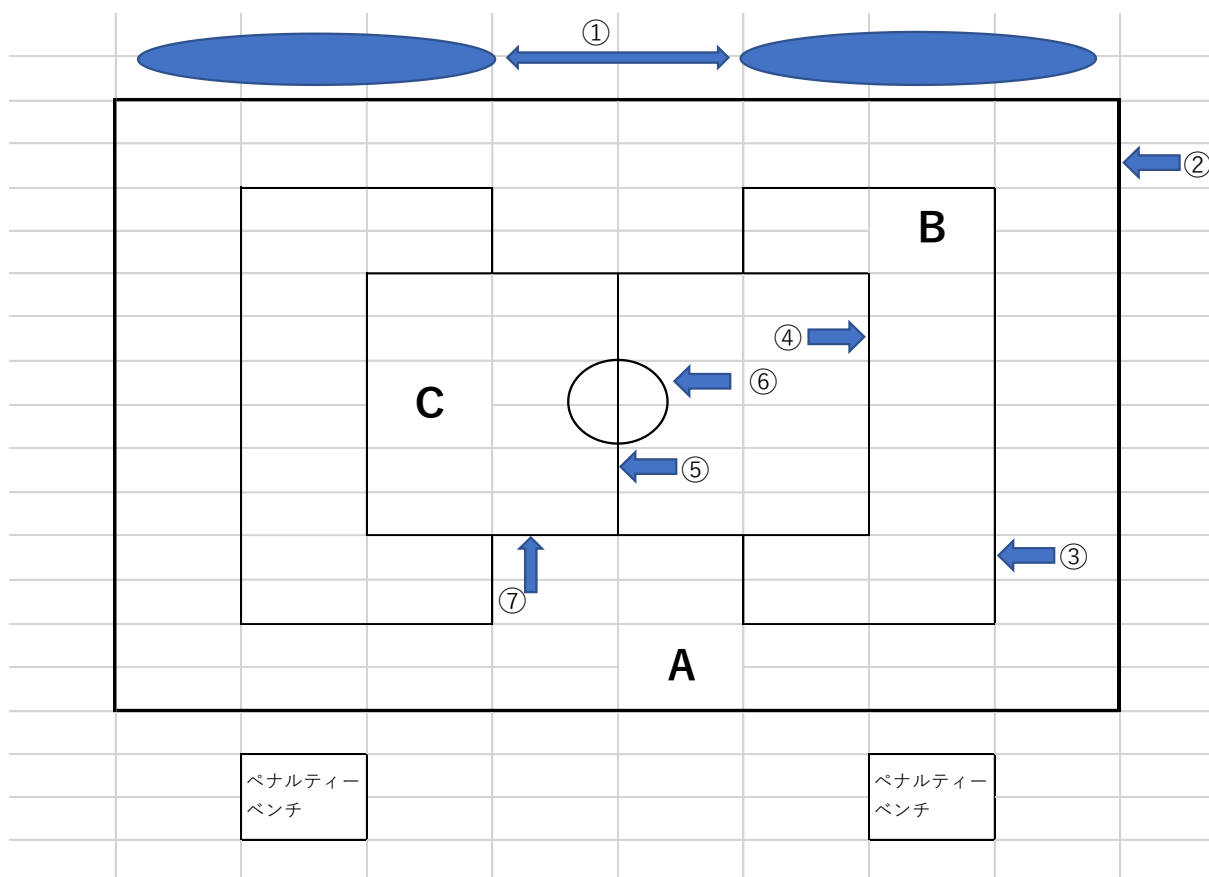
⑱試合中、プレイヤーや監督等が危険行為や重大なマナー違反を行った。

①		②		③	
④		⑤		⑥	
⑦		⑧		⑨	
⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮	
⑯		⑰		⑱	

問題 5)

1)線審のノータッチ B について書きなさい。 2 点

2)下記の①～⑩を書きなさい。(1点×10問=10点)



$$C+B+(\textcircled{8})=(\textcircled{9})$$

$$(\textcircled{9})+A=(\textcircled{10})$$

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩